

# 練馬区の小中一貫教育の取組および 小中一貫教育校の設置に向けた 今後の検討事項等について

令和元年12月22日

練馬区教育委員会事務局  
教育振興部教育施策課

# 目次

## 1 練馬区の小中一貫教育の取組

- 小中連携グループと施設一体型小中一貫教育校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## 2 新校の設置に向けた改築スケジュール

- 改築スケジュール・検討項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

## 3 新校の設置に向けた検討イメージ（学校運営面）

- 旭丘・小竹地区における小中連携等の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 施設一体型小中一貫教育校における体制等について・・・・・・・・・・・・ 4
  - ① 9年間を見越した教育活動
  - ② その他

## 4 新校の設置に向けた検討イメージ（学校施設面）

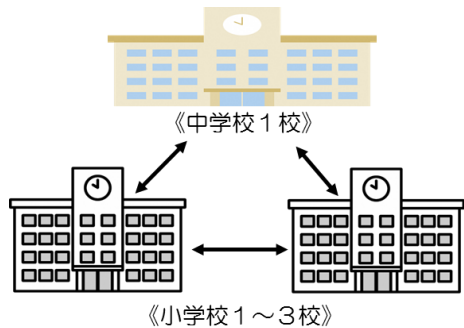
- 旭丘小・旭丘中の施設現状等、区の学校改築の基本的な考え方・・・・・・・・ 10
  - ① 児童生徒の教育環境の確保
  - ② 学校施設に必要な機能の確保
  - ③ その他

## ※ 参考資料

- 他自治体の施設一体型の事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

# 1 練馬区の小中一貫教育の取組

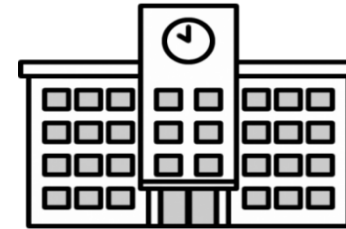
## 【小中連携グループ】



全校で実施

- 学校ごとに校長・副校長
- 修業年限は小学校6年、中学校3年

## 【施設一体型】



大泉桜学園（平成23年4月開校）

- 校長1名、副校長3名
- 修業年限9年（前期6年、後期3年）

## 小中一貫教育の効果

- 9年間（1年生～9年生）を見越した教育課程による学習指導および生活指導の充実
- 幅広い異年齢集団による豊かな人間性・社会性の育成
- 小学校から中学校への円滑な移行による安定した学校生活

施設一体型では「教員間の連携強化による指導の充実」「異学年交流の活性化」「同一施設内での小学校から中学校への円滑な移行」等が可能となり、より高い教育効果が期待できる。

## 2 新校の設置に向けた改築スケジュール

### 《改築スケジュール（想定）【学校施設管理実施計画】》

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
旭丘小 旭丘中	設計の 要件整理	基本設計	実施設計		
					工事開始

※ 開校年度見込については、基本設計等の状況に応じて提示予定

### 《検討項目》

- 施設整備（基本設計に向けた要件整理、施設の改築、仮設校舎等に関すること）
- 就学（通学区域制度の特例等に関すること）
- 教育内容（教育目標、教育課程、教育活動等に関すること）
- 学校経営（校務分掌、学校生活、学校行事等に関すること）
- その他（標準服、校章・校歌等に関すること）

⇒ 令和元年度は、令和2年度からの基本設計に向けた要件整理（施設整備・就学等）を中心に検討

### 3 新校の設置に向けた検討イメージ（学校運営面）

#### 《旭丘・小竹地区における小中連携等の取組》

##### いろいろな交流活動

- 中学校生徒会による中学校説明会、小学生の中学校部活動体験
- 中学生による職場体験  
（両小学校へリトルティチャーとして学習支援など）
- 小学校運動会での中学生ボランティア
- 小・中学校の特別支援学級で合同調理や合同校外学習
- 小学校同士の交流、移動教室合同実施

##### 一貫性のある指導

- 3校の教員による授業改善などの合同研究会を実施
- 中学校教員の両小学校への乗り入れ授業
- 生活指導上の決まりや指導方法等の情報交換
- 小・中学校の授業や行事の相互参観による児童生徒理解

##### 大学との連携

- 小学校の作品展で大学生の作品を展示
- 小・中学校の文化発表会の準備を大学生が指導
- 中学校の放課後勉強会に学生ボランティアが参加

交流スペースの  
設置等による  
異学年交流の  
更なる活性化

教員の連携強化に  
よる教育活動の充実

継続・発展

区にわたるまでの取組を踏まえ、  
旭丘・小竹地域の特性を活かした  
魅力ある学校づくりの検討につなぐ

### 3 新校の設置に向けた検討イメージ（学校運営面）

#### 施設一体型小中一貫教育校における体制等について

##### 教職員体制

- 校長1名、副校長3名を配置
- 教職員は、小学校・中学校ごとに他校と同様に学級数に応じた配置基準

##### 学年段階の区切り

- 修業年限は小学校6年・中学校3年（小学校の卒業式・中学の入学式は開催）
- 大泉桜学園では、5年生からの50分授業や一部教科担任制など、発達段階に応じた柔軟な取組を実施

##### 部活動

- 多くの小中連携グループが小学校高学年を対象とした部活動体験を年に数回程度実施
- 大泉桜学園は、希望者は5年生から部活動に参加することが可能

##### 学校行事

- 大泉桜学園は全学年合同の運動会・音楽祭や5～7年生の飯ごう炊さんなどを実施
- 他自治体においても、学校ごとに多様な学年の組み合わせで行事を実施

##### PTA活動

- 大泉桜学園では、小・中学校のPTAを一体化した「桜連絡会」を設置し、学校行事や各種委員会など多くの場面で活動

##### 通学区域等

- 一貫中学校の通学区域内に在住している方から、一貫小学校へ入学したいとの希望があれば、原則として入学可能（大泉桜学園では大泉緑小の通学区域からの希望者を受け入れ）
- 一貫小学校から他の中学校を希望、また他の小学校から一貫中学校への希望も可能（学校選択制度）

# ① 9年間を見越した教育活動

## 発達段階に応じた教育活動

○ 施設一体型の利点を活かして、発達段階に応じた柔軟な教育活動が可能

### 《大泉桜学園での事例》

#### ◆ 小学校の卒業式、中学校の入学式を開催

○ 中学校の入学式は小学1年生の入学式と合同で実施

#### ◆ クラブ活動等における6年生の意識醸成

○ クラブ活動や移動教室・他校との連合行事等の様々な機会を捉え、6年生がリーダーシップを發揮できるような機会を創出

※ 大泉桜学園では運動会や委員会活動は中学校と合同



《1年生と7年生の合同入学式》

クラブ活動：小学4～6年生を対象に、特別活動として授業時間の中で実施する活動

# ① 9年間を見越した教育活動

## ◆ 学習指導

- 5年生からの50分授業や一部教科担任制を行っているが、各学年の学習指導要領に基づき、学年を先取りした授業や指導は実施していない
- ※ 小中一貫教育校でも、中学校選択制度により他の小学校からの新入生の受け入れや在校生の他の中学校への入学希望は可能

## ◆ 5年生からの部活動参加

- 5年生から、希望者については中学校の部活動に部分的に参加  
(例年、5年生は2～3割、6年生は6割程度が参加)
- 小学生と中学生の体格や体力差、またルールなどの違いを踏まえ、練習メニューや参加時間を分けて参加

### 【 今後、必要な検討事項 】

- 6・3制にとらわれない発達段階に応じた弾力的な教育活動と小中の区切りを意識したメリハリをつけた教育活動の両立
  - 中学校からの入学者に配慮した対応のあり方



# ① 9年間を見越した教育活動

## 幅広い異学年集団による活動

○ 様々な学年の組み合わせによる学校行事や交流活動の実施が可能

### 《大泉桜学園での事例》

#### ◆ 1～9年生の合同行事



《運動会》



《桜祭（音楽会）》



《学習発表会（作品展覧会）》



《9年生を送る会》

# ① 9年間を見越した教育活動

## ◆ 異学年集団の行事



縦割り遠足



飯ごう炊さん



一斉下校訓練



開校記念集会



防災リーダー



交流給食

### 【今後、必要な検討事項】

- 新校における学校行事の運営（開催時期や形態等）や交流活動のあり方、それらが可能な施設整備

## ② その他（これまでの小中一貫教育校推進委員会において意見が出たもの）

### 地域の特性を活かした学校づくり

#### ◆ 3つの大学が近隣立地



#### ◆ 地域のお祭りなど

##### ＜江古田音楽祭＞

江古田にゆかりのあるプロやアマチュア、学生など様々な演奏家が江古田各所でコンサート等を開催

##### ＜桜台地区祭＞

納涼屋台の出店や相撲大会を実施

#### 【今後、必要な検討事項】

- 文化・芸術活動や地域の伝統的な活動を行っていくための体制の整備

### 標準服

#### 《大泉桜学園での活用》

保護者、教員等で検討し、段階的に導入

- 1～4年生までは任意
- 5年生からは着用を推奨
- ※ 5・6年生は8割以上が標準服を着用、入学式等の式典時にはほぼ全員が着用



1～4年生



5～9年生

#### 【今後、必要な検討事項】

- 標準服の導入の有無やあり方

# 4 新校の設置に向けた検討イメージ（学校施設面）

## 《旭丘小・旭丘中の施設現状等》



### 【児童生徒数・学級数】

R1.5.1時点

	通常の学級	特別支援学級	
		知的障害（固定級）	難聴（通級）
旭丘小	160名（6学級）	9名（2学級）	10名（1学級）
旭丘中	149名（6学級）	7名（1学級）	-

### 【施設保有状況】

	校地面積 ㎡	校舎面積 ㎡	校庭面積 ㎡	体育館 面積 ㎡	階数
旭丘小	15,902	5,577	7,998	773	3階
旭丘中	12,417	5,721	7,580	930	4階

### 【各諸室等】

多目的室、理科室、美術室、家庭科室、音楽室、パソコン室、図書室、職員室、保健室、体育館、プールなど

## 《区の学校改築の基本的な考え方》

現状の施設状況等を踏まえ、児童生徒の教育環境を確保するとともに、学校施設の標準化を行い、バリアフリー化やICT化の推進、ねりっこクラブの設置など、今後の学校施設に必要な機能を確保

# ① 児童生徒の教育環境の確保

## 小中学生が同一施設で安全に過ごせる環境の確保

- 小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちの体格差等を踏まえ、安全面に配慮した学校運営や教育環境の確保が必要

### 《大泉桜学園での事例》

#### ◆ 休み時間の活動等

- 1～4年生の中休みは、5～9年生は授業時間となっており、同時間に利用していない
- 活動時間が重なる昼休みは、別々の場所を使用

#### ◆ 体育の授業

校庭や体育館等の運動施設は1～4年生と5～9年生で分かれており、別々に使用

#### ◆ 運動会（1年生から9年生合同）

- 児童生徒の発達段階に応じたプログラムを構成
- 中学生の係が低学年のサポートを実施



《1年生から9年生合同の運動会》

### 【 今後、必要な検討事項 】

- 施設配置の状況や子どもたちの動きを踏まえた教室のゾーニング
- 校庭や体育館などの運動施設の配置のあり方

# ① 児童生徒の教育環境の確保

## 子どもたちが安心して過ごせる環境の確保

- セキュリティ機能の整備等により、子どもたちが安心して過ごせる教育環境を確保

### 《教育委員会における取組》

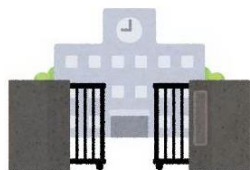
#### 校内防犯カメラ



#### 校門のインターホン設置



#### 通学路防犯カメラ



各校の通学路に防犯カメラを設置  
(現在、区内で合計325台)

#### その他の取組

##### ◆ 学校防犯指導員の配置

警察OBを教育委員会事務局内に配置

##### ◆ 児童通学案内指導員の配置

区立小学校の通学路において児童の登下校時の交通安全の見守り

### 【今後、必要な検討事項】

- 子どもたちの安全・安心を確保できるセキュリティ対策に向けた対応

## ② 学校施設に必要な機能の確保

### 防災機能の確保

- 災害時に避難拠点となるため、体育館や防災備蓄倉庫等について災害時の地域利用を踏まえた整備が必要

#### 《旭丘中の体育館状況》



現在、体育館が2階に設置されているが、バリアフリー化等を踏まえ1階への設置を検討

#### 《防災機能の整備例》



防災備蓄倉庫を避難者の居室となる体育館付近へ設置するなど、利便性を考慮した配置を検討

#### 【 今後、必要な検討事項 】

- 地域における防災拠点としての機能を有した施設整備

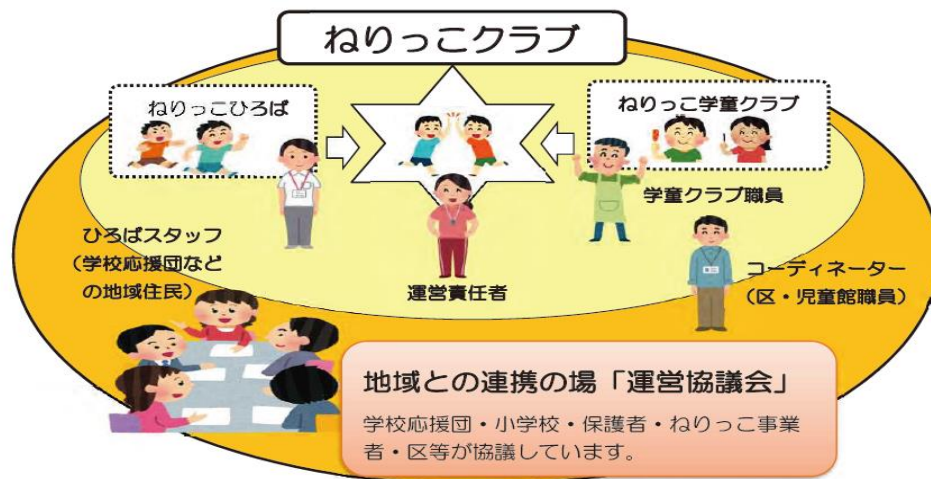
## ② 学校施設に必要な機能の確保

### 施設の複合化

#### ○ 学校敷地内における子どもたちの放課後の居場所確保の取組

##### 【今後、必要な検討事項】

- 学校改築に合わせて、学校内にねりっこクラブが設置できるスペースの確保を検討



#### ○ 学校改築に合わせて周辺施設や新たな区民サービス機能との複合化を検討

《区の検討状況：公共施設等総合管理計画〔実施計画〕（素案）※抜粋》

旭丘小学校、旭丘中学校の改築に合わせて、栄町児童館・敬老館を複合化し、新たな区民ニーズに応える児童館や街かどケアカフェ、地域包括支援センターに機能転換

##### 【今後、必要な検討事項】

- 地域のニーズや近隣の施設状況を踏まえた複合化



### ③ その他（これまでの小中一貫教育校推進委員会において意見が出たもの）

#### 職員室

《大泉桜学園での事例》

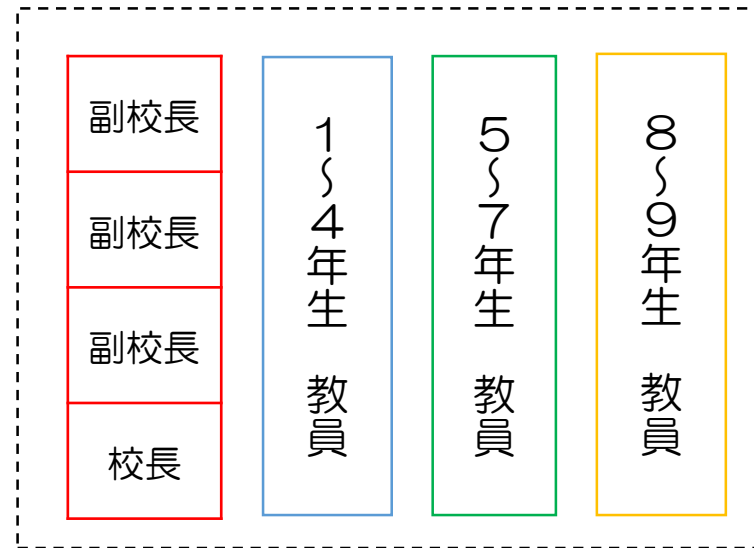
- 小中学校の職員室を一体化し、学年段階の区切りごとに机を配置



【今後、必要な検討事項】

- 小中教員が連携しやすい職員室のあり方や施設整備

《一体型職員室のレイアウト例イメージ》



#### 給食室

- 現在は、旭丘小の給食室で2校分の給食をつくり、旭丘中へ配送

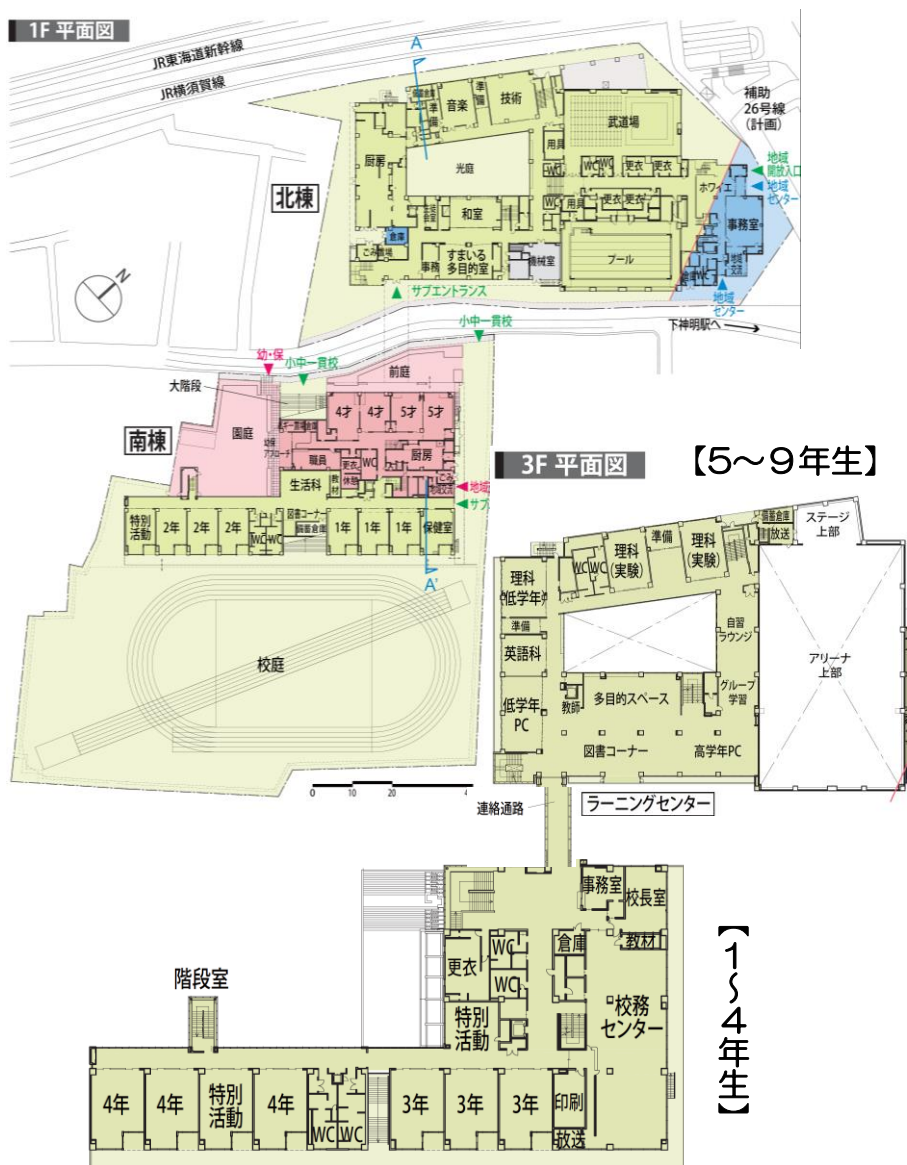


【今後、必要な検討事項】

- 子どもたちの栄養面や衛生面等も踏まえ、円滑に給食提供できるような給食室の整備

# ※ 参考資料 他自治体の施設一体型の事例

## 他自治体における施設一体型小中一貫教育校の配置事例（品川区：豊葉の杜学園）



	普通学級		特別支援学級	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
小学校	570	18	17	3
中学校	367	11	13	2
合計	937	29	30	5

【エントランス】



【連絡通路】



### 《施設概要》

- 1～4年生、5～9年生に分けた校舎配置
- 南側校舎に大階段を設置し、2Fに昇降口を設置
- 校舎を結ぶ連絡通路を3Fに設置
- 校庭・体育館・プールは1つずつ設置
- 地域センター・幼稚園・保育園との複合施設

出典：品川区HP等資料



# ※ 参考資料 他自治体の施設一体型の事例

異学年交流や教員連携のスペース事例（川崎市立はるひ野小学校・はるひ野中学校）

## 【多目的ホール（ランチルーム）】



異学年交流、地域交流としても利用可能。

## 【メディアセンター（図書室・コンピュータ室）】



児童生徒が利用しやすいように、オープンで明るい空間としている。



図書室とPC室が隣接しており、調べ学習を行いやすい。

身近な教材となる図書室やコンピュータ室を中心としたメディアセンターを、小中合同の調べ学習の拠点として学校の中心に配置

## 【校務センター（職員室）】



校務センターとして小・中学校の職員室を一体的に整備している。校務センターの脇には、教職員用の交流スペースも設けられており、教職員の一体感が生み出されている。

# 担当および連絡先

## ◆ 教育施策課

- 今後の検討事項・スケジュール等に関すること

## ◆ 学務課

- 通学区域に関すること、就学に関すること (学事係)
- 特別支援教育に関すること (就学相談係)

## ◆ 学校施設課

- 学校施設の改築・改修に関すること
- 学校の施設整備に関すること

## ◆ 教育指導課

- 小中一貫教育に関すること
- 学習内容や学校行事に関すること

問い合わせ先	電話番号	メールアドレス
教育施策課	5984-1034	ATGAKKO@city.nerima.tokyo.jp
学務課 学事係	5984-5659	GAKUMUKA@city.nerima.tokyo.jp
学務課 就学相談係	5984-5664	GAKUMUKA@city.nerima.tokyo.jp
学校施設課	5984-5723	SISSETUQSYOKU@city.nerima.tokyo.jp
教育指導課	5984-5759	SHIDOSHITSU@city.nerima.tokyo.jp